

渡辺大三

週刊
NEWS



【会派 NEWS】 2019(平成 31)年 1 月 17 日号
お気軽にご連絡ください 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301
TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

市役所「残業代」の現状と課題

削減進むも、国分寺市と比べると・・・

今日は、以前からお知らせしている小金井市役所の「残業代」に関して、現状と課題をお知らせします。

直近の決算年度(平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月)における「残業」に関して、小金井市は、「年 10 万時間を切る」ことを目標に設定。結果として「9 万 8093 時間」となり目標は達成されました。このことは評価したいと思います。

しかし、小金井市と、人口、面積、正規職員数が非常に似通っている国分寺市との比較では、直近の決算年度は以下のようになりました。

私は以前から、国分寺市の「残業代」抑制策に学ぶべきだと提案を続けてきました。そして、年に一回の決算でだけチェックするのではなく、年間を通じて「残業」を監視するため、毎回の市議会に「残業」実態を各課別に提出させてきました。

「10 万時間」を切ったことは評価しつつ、それに満足せず、国分寺市と同程度にまで抑制できるよう、さらに監視の目を厳しくしていこうと考えています。

市の貯金の現状は 近隣 8 市との比較

直近の決算年度(平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月)の年度末における小金井市の貯金(各種基金)の残高が、近隣市と比べてどういう状況にあるか、情報公開いたします。

市の規模(人口、面積等)がばらばらなので、市民一人あたりの額に換算して掲載いたします。

	小金井市	国分寺市
人口	119,598 人	121,234 人
面積	11.30km ²	11.46km ²
職員数	613 人	571 人
時間外勤務時間数	9 万 8093 時間	6 万 3421 時間
職員一人あたり時間数	160 時間	111 時間
時間外勤務手当額	2 億 6123 万 9433 円	1 億 7050 万 5417 円
職員一人あたり手当額	42 万 6165 円	29 万 8608 円

*人口と面積は平成 29 年 4 月 1 日現在
*職員数は時間外手当支給対象職員(非管理職)の数

この表で明らかなおとおり、JR 中央線で横に並んでいて、人口、面積がほぼ同じで、職員数は小金井市の方が多のに、年間の「残業代」が 9073 万円も国分寺市の方が少なく済んでいるのです。端的に言えば、小金井市職員の方が、業務の効率が相当悪いとも言えます。

市名	一人あたりの額
武蔵野市	29 万 4038 円
府中市	24 万 8154 円
国分寺市	9 万 6881 円
調布市	9 万 5220 円
三鷹市	7 万 4740 円
小金井市	6 万 7159 円
小平市	6 万 4448 円
西東京市	3 万 7342 円

小金井市の貯金残高(市民一人あたり)は、西武線沿線の 2 市を上回っていますが、中央線・京王線沿

線の6市の中では最下位ということです。

西岡市長は、昨年12月、この貯金を2400万円取り崩して市職員のボーナスを引き上げたわけですが、上記のような乏しい貯金の状態では、今後の財政需要に適切に対応できるか不安が残りますので、貯金を取り崩しての賃上げは不適切です。

市民に迷惑をかけないよう、計画的な積み立てを行うべきです。

たとえば、現在、小金井市には図書館本館を建て替えるための貯金(基金)がまったくありません。市民待望の施設でもあり、狭隘で老朽化した現在の本館をいつまでも放置はできません。私は、基金の創設を提案しています。

庁舎建設予定地の大型樹木 保全に向けて一歩前進



庁舎建設予定地(蛇の目ミシン工場跡地)の東端に2本並んでいる大きなメタセコイヤに関して。西岡

市長が推進してきた施設配置案(Cre-2案)では、2本とも伐採される想定でしたが、市長が当該施設配置案を断念したことにより、保全できる可能性が大きくなってきました。

私は、一昨年の一般質問で保全を求めて以降、市民の皆さんとも連携して、保全に向けての具体的な取り組みを進めてきました。その後、市議会の多くの議員からも保全を求める声上がり、市長としても無視できなくなったのだと思います。

「大きな樹木」というのは、それ自体「まちの財産」と私は思っています。お役人の言いなりになって、このメタセコイヤを含め、ほとんどの敷地内樹木を伐採する前提の施設配置案を推進してきた西岡市長の責任は重大です。

市長の仕事は、お役人の「言いなり」になることではなく、真に大切なものは守るようお役人に「指示」をすることなのではないでしょうか？

私は、保全を確実なものにするため、引き続き提案を続けていこうと思います。

なお、今後、号を改めて情報公開を進めたいと思っておりますのは、市庁舎と福祉会館の配置計画に関して、どの案を採用するかで、確保できる広場や緑地の面積に大きな違いがあるということです。その情報がまだほとんどの市民に知らされていません。誤りのない配置案にするためにも市民と議会と行政の情報の共有化が大切です。

渡辺大三 プロフィール

1966年5月2日、岩手県奥州市生まれ。秋田県、宮城県、山形県を経て、小学校3年生から小金井市在住。小金井市立本町小学校、小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(本社=仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、1993年、小金井市議選に26歳で初当選。以降7期連続当選(直近4期は無所属で立候補)。「脱ムダ改革」を掲げ、小金井市政のムダ遣いや不正を厳しくチェック。

現在=小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京都の地域政党「自由を守る会(代表=上田令子都議会議員)」幹事長。市議会では議会運営委員長を務める。

日々の市議会報告や活動報告は、Twitter、facebookに掲載しております。「渡辺大三HP」からアクセスできます。ぜひお読みください。

<http://www.daizou.org/>